

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



ハチマルニイマル  
8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう

# 廣齒連盟ニュース

## HIROSHIRENMEI NEWS

平成25年5月2日

第154号

発行所 広島県歯科医師連盟  
広島市中区富士見町11-6  
エゾール広島820 TEL (082) 241-8020  
ホームページ http://hpdpf.jp  
編集兼発行人 梶田博昭

### 第60回広島県歯科医師連盟評議員会

平成25年3月23日(土) 午後5時より県歯会館6階「ハーモニーホール」に於いて、標記の会が開催され、平成25年度事業計画及び予算案など第6号議案まですべて可決承認された。

氏名点呼の後、神原和暢副会長の開会の辞で始まり、川原正昭議長と中原裕穂副議長の進行のもと、議事録署名者に伊藤光康(大竹)、横山勝(庄原)の両評議員が指名された。

次に山科透会長より「お集まりいただきましてありがとうございます。昨年末民主党から自民党に政権交代したが石破幹事長は、この夏の参議院選挙が終了しないと政権交代したものは言わない」と言っており、現在は参議院では民主党が半数を確保している。で、いろんな法案を出しても通らない。夏の参議院選挙は何としても勝って政権を復帰できたとい



挨拶する山科透会長

- 第1号議案 平成25年度事業計画の承認を求めると
- 第2号議案 平成25年度会費賦課額及び徴収方法案の承認を求めると
- 第3号議案 平成25年度事業収支予算案の承認を求めると
- 第4号議案 公職選挙候補者の推薦について承認を求めると
- 第5号議案 広島県歯科医師連盟規約の一部改

平成25年3月23日(土) 午後4時より県歯会館4階「役員会議室」に於いて、標記の会が開催された。土江健也副会長の開会の辞に始まり、山科透会長より「最近政権交代し、三本の矢としての政策をしていますが、関心の高いことはPPPの問題が非常に大きく取り上げられています。自民党から安心だと言っているが、以前の自民党とは違うことをどこかで示して欲しい。我々としてはしっかりとした形で自分達の政策を打ち出してそれを具現化してくれる

政党内協力するという形を示していかねばならない。今回広島全7区、比例を含めて自民党の議員が全員当選することができました。先日東京で自民党本部から広島県歯科医師連盟が優秀支部として表彰を受けました。我々の目的とする事業をやっていくには自民党をしっかりと支持していくことが重要である。この7月にある選挙で石井みどり議員を当選させなければ、今までせっかく作り上げた我々の仕事ができなくなる可能性がある。昨日の日歯の評議員

会では歯科医療のダイバーシティを作る、ダイバーシティとは多様性を作るということ、歯科医師は今後いろんなことをやっていかねばならない。従来型の治療を中心とした治療、診療室の中で治療を完結するのではなく、地域完結型の医療に展開していかねばならないところに来ていく、もつすでに始まっている。広島県歯科医師会の事業も連携ということ、糖尿病、在宅医療、高齢者の医療、認知症、障害者の治療というものもいろんな資格者との

- (1) 計現況報告
- (2) 一般会務報告及び会
- (3) 中央情勢報告
- (4) その他

続いて荒川信介理事長より次の報告があった。  
(1) 一般会務報告及び会  
(2) 中央情勢報告  
(3) 計現況報告  
(4) その他

## 平成24年度 第2回理事会

正について承認を求めると  
第6号議案 その他の案  
件  
について協議し承認された。

### 平成25年度 事業計画

1. 基本方針  
昨年末の衆議院総選挙によって誕生した安倍総理を中心とした新しい政府には、低迷している経済状態からの回復、尖閣諸島をはじめとする近隣諸国との複雑な問題を含んだ外交の解決、東日本大震災からの完全復旧、更には学校・教育の問題等々、山積する諸問題を解決すべく、責任ある信頼できる政治・安定した政権運営に大いに期待を寄せているところである。

加えて、今期改選の職域代表候補の石井みどり参議院議員には、歯科医師の業権確保のためにも、歯科界を挙げて高位当選を果たすべく、全力を尽くして来るべき夏の参議院選挙に臨みたいと思っている。

また、全国に先駆けて広島県庁内に設置された「広島県口腔保健支援センター」を拠点として歯科保健の啓発に取り組んでいかねばならず、平成24年度から周術期口腔機能管理が保険導入されたように、今後は強固な医療連携体制を構築すべく、本会と一体となった連盟活動を展開したい。

更に、本会が本年4月から一般社団法人への移行を契機とし、会務機構改編による新しい執行体制の確立による新生「一般社団法人 広島県歯科医師会」の船出となる輝かしい年を迎えたことから、先達の先生方が築いてこられた歴史と伝統を継承しつつ、次世代の会員が夢と希望をもって歯科医療に取り組むことができるよう、本会と協力し全力を傾注して連盟活動を推進していきたい。

- 2. 事業項目
- (1) 連盟員の相互協力体制の確立と団結力の醸成に関する事項
- (2) 各郡市支部並びに選挙区毎の連盟活動に対する支援に関する事項
- (3) 連盟広報活動(連盟ニュース・通信、ホームページ)に関する事項
- (4) 関係機関及び有効団体の医政問題に関する事項
- (5) 日本歯科医師連盟との連絡調整に関する事項
- (6) 各政党職域支部及び職域代表議員広島後援会の事業活動への協力に関する事項
- (7) 推薦国会議員、地方議会議員及び首長選挙における本連名推薦候補者に対する支援活動に関する事項
- (8) 推薦国会議員、県議会議員、市町議会議員及び首長との連絡調整に関する事項
- (9) デンタルミーティング開催に関する事項
- (10) その他政治的問題に関する事項



第2回理事会(3/23)



# 石井みどり・みぞて顕正決起大会 広島

平成25年2月16日(土)午後5時より県歯会館6階「ハーモニーホール」に於いて標記の会が開催された。

荒川信介理事長の司会進行のもと、山科透会長より「おそろく7月21日が選挙であると思っております。石井みどり議員も6年前の志も変わっていないと思っております。6年間の経験をより生かしていく次の6年になろうと思っております。今までの6年間は口腔保健法あるいは法律の制定について我々歯科の立場をより鮮明にし向上させていくことにご尽力頂きましたが、次の6年はただ向上させただけではなく会員が実感できるように提供していただきたい」と挨拶があった。



山科透広島県歯科連盟会長

続いて高木幹正日本歯科医師連盟会長より挨拶があった。

引き続き石井みどり参議院議員より「この7月21日に予定されており、第23回参議院通常選挙におきまして広島選挙区は溝手先生、全国比例は石井みどりという形で戦わせていただくことになると思っております。

6年前、皆様の代表として国会へ送っていただき5年半働くことが出来ました。平成18年にありました診療報酬改定は、



高木幹正日本歯科医師連盟会長

引き続き石井みどり参議院議員より「この7月21日に予定されており、第23回参議院通常選挙におきまして広島選挙区は溝手先生、全国比例は石井みどりという形で戦わせていただくことになると思っております。

6年前、皆様の代表として国会へ送っていただき5年半働くことが出来ました。平成18年にありました診療報酬改定は、

だいております。通常、政府提案の閣法であれば、その作業はすべて役人がしますが、議員立法であれば議員が走りまわることになるのです。歯科口腔保健法、歯科口腔保健推進に関する法、あるいはスポーツ基本法、死因究明推進法または警察等が行う死体の死因、または身元の調査等に関する法、これもすべて議員立法でありました。議員立法の場合は各会派は勿論、与党仲間であり友党である公明党、民主党、社民、共産、みんな、維新も含め、各会派が信用出来、コミュニケーションが十分取れることが重要です。また、党内を説き及ぼすキープソンと繋がりを作る事も重要で、それと同時に各行政機関に信頼をおけて、協力していただける方を作ったことも重要であります。

厚生労働省、環境省だけでなく文科省、財務省、総務省、国土交通省、警察庁、法務省様々な議員立法を成立させる上で、議員同志の繋がりが重要でなく、行政職員との繋がりが重要で、行政職員の繋がりが重要で、立法と税制の成立が彼らの重要な仕事です。そういう意味で最初の2年2か月は毎年12月になると税制の戦いがありましたが、頼まれた税制は必ず税調で発言をして自民党は政府税調より党税調の方が優位という形で、平場で声の大きさと数が勝ちますので、仲間を引き連れて必ず発言する。そういう意味で大変信頼を置いていただき、そういう中で親しい人を作っていくなかで、法案を成立させていくことが出来ました。私たち

は、歯科口腔保健法を作っていくことだけが目的ではありません。目的はむしろその先であり、歯科口腔保健法もプログラム法、死因究明推進法もプログラム法のつもりであります。これは先程来出しておりますように歯科口腔保健法は理念法です。具体的な事業メニューや罰則、予算などについては入っているわけではありませんが、歯科医療だけでなく保健の分野で成果を出す役割が法的に明示されたということは、大変価値あることだと思っております。そして理念法であっても行政は根拠法があるとも必ず動きまわります。私どもはこの法律によって、44道府県で条例が出来つつあります。すでに成立した道府県が29道府県、今、準備中の所が15県あります。市町村に至っては、26県がすでに制定されています。一番目指しているものは、生涯を通じてのシームレスな歯科検診から歯科医療サービスをお届けすることにあります。残念ながら18歳までは検診の仕組みがございませんが、成人歯科保健のところをまさに谷間に落ち込んでおり、成人歯科保健対策が可能となる様、エビデンスを集積したいと考えています。たとえばメタボリックシンドローム対策のための特定健診の中で歯科検診を導入したいと考えています。そして労働安全衛生法の中で歯科医師が関わられる健診というのが、私どもが作ったデータではありませんが、保険者の持っているデータであります。エビデンスを集積して行けば、必ずこの労働政策審議会の中で、厚生労働大臣に対して審議もしくは提言が出る訳であります。このことが狙いとすると、この

職業、消防、海上保安が、後半が違う条文であります。何が違うか、歯科医師は身元確認をして遺体の検案をするが検案書が書けないのです。つい最近まで歯科医師は口腔領域の疾患で死亡した人の死亡診断書も書けませんでした。眼科医であれば耳鼻科医であれば死亡診断書が書けたのに、歯科医師は死亡診断書を書けず、その疾患を主治医として見てきた口腔外科医は死亡診断書すら書けなかったものであります。しかし、それも医師の権限の分限であり、行政手続き法を逸脱した人権侵害の指導がまかり通っている。そのために先生方は診療を抑制し、委縮診療が蔓延しているのであります。

周疾患、歯科検診は入っていないのであります。ここに入ることで、生涯を通じてシームレスな歯科サービスの提供につながるものだと思うのであります。しかし、まだまだ厳しい課題がございます。労働安全衛生法のなかで産業歯科医の文書はあるものの、条文は決まらず、そして労働政策を審議会、かつては中央労働基準審議会といたしまして、戦後このなかに一度たりとも歯科医が参画したことはございません。この労政審、我が国は労働政策をILOの勧告通り政策を3者合意で政策が決定されていきます。公益側、経営側、労働側、5人ずつの15人の構成で必ず歯科医師が学識経験者で入っていただき、昨年の予算委員会での野田総理が質問した時に使わせていただいたデータがございます。10年歯科検診をやった組合と歯科検診しなかった組合の医療費の格差が出ています。糖尿病と歯周疾患との全身疾患との関連ですが、私どもが作ったデータではありませんが、保険者の持っているデータであります。エビデンスを集積して行けば、必ずこの労働政策審議会の中で、厚生労働大臣に対して審議もしくは提言が出る訳であります。このことが狙いとすると、この

先週九州を回っていたとき、大変厳しい指導の実態をお聞きしました。指導から監査になる方はブラックな方だと思っております。しかも、い話でありました。行政手続き法を逸脱した人権侵害の指導がまかり通っている。そのために先生方は診療を抑制し、委縮診療が蔓延しているのであります。



石井みどり参議院議員

であります。先ほどの死因究明関連2法はプログラム法であります。特にこの死因究明推進法の中で、いわゆる事故調のものは今含まれていません。この救命関連の議連を作ったのも4年越しで与党の時から野党になってやうと成立したわけでありましたが、この法律もこれからの勝負であります。

今日内閣府において死因究明推進会議、その下の専門会議がございまして、推進会議の方は日本歯科医師会の大久保会長が委員、日本医師会の横倉会長が委員です。その下の専門会議においては日本歯科医師会の柳川常務、日本医師会の今村副会長、日本の法歯科医学の小山教授があられます。この夏までに、死因究明推進計画を作り、ここにどれだけのきちんと私どもの歯科が乗り込めるか、この後作られる本方に明示されることが勝負で、これからの行く末を見守っていかねばなりません。すでに広島県歯科医師会も早くから警察と連携をとって研修会を行い長い間活動をされてこられて、実績もございまして。

そして阪神淡路大震災、そして一昨年の東日本大震災、古くはJAL123便の事件の御巣鷹山での身元確認、先生方がまさに献身的にご遺族にご努力されたという思いで、ご努力されてこられた。ところがこれまで歯科医師が身元確認するたの根拠法がなかったのです。一昨年の東日本大震災の時、ベテランの警察官がPTSDを発症された。夜眠れない、食事を摂えられない等の症状を訴えられました。他

の職、消防、海上保安が、後半が違う条文であります。何が違うか、歯科医師は身元確認をして遺体の検案をするが検案書が書けないのです。つい最近まで歯科医師は口腔領域の疾患で死亡した人の死亡診断書も書けませんでした。眼科医であれば耳鼻科医であれば死亡診断書が書けたのに、歯科医師は死亡診断書を書けず、その疾患を主治医として見てきた口腔外科医は死亡診断書すら書けなかったものであります。しかし、それも医師の権限の分限であり、行政手続き法を逸脱した人権侵害の指導がまかり通っている。そのために先生方は診療を抑制し、委縮診療が蔓延しているのであります。

は半分似ている条文です。実際の歯科医療提供体制の中でも大きな格差があります。何も私は歯科医師だけが濡れ手に粟で金儲けが出来て、社会的地位が欲しいということをやっている訳ではありません。先達様がこれまでも書かれてこられた歯科医療をさらに発展させ、そして、歯科界が適正な評価を受けられる様、努力したい。また、将来の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の方々が自信とプライドを持って、仕事を打ち込める歯科界となる様、全力を傾けたい。それが私の目標であり、使命だと思っております。

今日お渡ししたリーフレットの中に「ダイバーシティー」を作りたい」と書かせていただきました。ダイバーシティーってなあに？とおっしゃられる方もみえますが、これからはダイバーシティーというのはいま、経営管理用語としては多様性ということであり、歯科が持つ持っている歯科医

療、口腔保健が持つ持っているダイナミズムを取り戻し、そして歯科界が抱えている潜在している多様な人材を活かせる様な仕組みを作り上げたいと思っております。歯科の専門家が活躍する未来を拓くためにもう一期働かせていただきたいと思います。

先週九州を回っていたとき、大変厳しい指導の実態をお聞きしました。指導から監査になる方はブラックな方だと思っております。しかも、い話でありました。行政手続き法を逸脱した人権侵害の指導がまかり通っている。そのために先生方は診療を抑制し、委縮診療が蔓延しているのであります。

続いてみぞて顕正参議

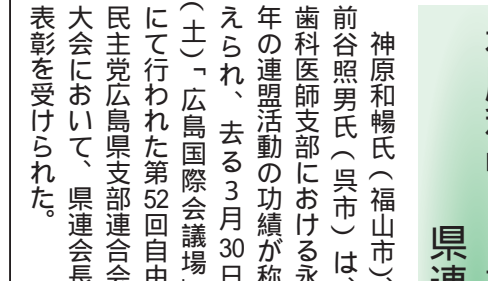
院議員より「この7月21日に予定されており、第23回参議院通常選挙におきまして広島選挙区は溝手先生、全国比例は石井みどりという形で戦わせていただくことになると思っております。



溝手頭正参議院議員

院議員より、私が石井みどり先生より長けている事... 政治の世界でいけば石井先生は政治の世界に6年近くいる... 溝手頭正参議院議員

のために自由民主党は... 自由民主党はどなたか... 自由民主党はどなたか... 自由民主党はどなたか



ガンパロー三唱

最後に、自由民主党も... だんだんとギリ貧になっ... たところに、小泉改革とい

最後に石井みどり・み... ぞて頭正議員の必勝を期... して土江健也副会長の音

石井みどり・みぞて頭正決起大会... 平成25年2月16日(土)... 午後2時30分より福山市... 自由民主党広島県歯科医師支部

神原和暢氏、前谷照男氏... 県連会長表彰を受く... 神原和暢氏(福山市)、前谷照男氏(呉市)は、

自由民主党広島県歯科医師支部... 表彰を受く... 平成25年3月17日(日)「新高輪プリンスホテル」

全国都道府県・郡市区歯科医師連盟代表者連絡会議... 去る1月31日午後1時... から、東京の「日比谷公

石橋良三県議会議員時局講演会... 3月7日(木)午後8時... 30分から県歯会館6階

連盟支部だより... 安佐支部... 3月7日(木)午後8時30分

決意表明する石井みどり参議院議員... 今夏予定の参議院選挙... 石井みどり参議院議員